

平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月11日

上場会社名 株式会社TSIホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3608 URL <http://www.tsi-holdings.com>
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)三宅 正彦
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部副本部長 (氏名)大石 正昭 (TEL)03(5213)5516
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	137,208	39.9	△20	—	1,226	—	134	—
24年2月期第3四半期	98,057	—	△3,280	—	△4,482	—	△4,570	—

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 274百万円(—%) 24年2月期第3四半期 △10,665百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年2月期第3四半期	1	16	—	—
24年2月期第3四半期	△43	85	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	187,740	—	116,965	—	60.6	—
24年2月期	190,804	—	119,255	—	60.7	—

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 113,737百万円 24年2月期 115,900百万円

2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	
24年2月期	—	0	00	—	17	50	
25年2月期	—	0	00	—	—	—	
25年2月期(予想)	—	—	—	17	50	17	50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	188,000	27.2	△500	—	0	—	△1,960	—	△16	93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年2月期3Q	115,783,293株	24年2月期	115,783,293株
25年2月期3Q	3,514株	24年2月期	2,905株
25年2月期3Q	115,780,012株	24年2月期3Q	104,212,415株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、平成23年6月1日に、(株)東京スタイルと(株)サンエー・インターナショナルの共同株式移転の方法による共同持株会社として設立されました。当社設立に際し、(株)東京スタイルを取得企業として企業結合会計を適用しているため、前第3四半期連結累計期間(平成23年3月1日から平成23年11月30日まで)の連結経営成績は、取得企業である(株)東京スタイルの前第3四半期連結累計期間(平成23年3月1日から平成23年11月30日まで)の連結経営成績を基礎に、(株)サンエー・インターナショナルの平成23年6月1日から平成23年11月30日までの連結経営成績を連結したものであります。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	5
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	5
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	5
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	5
	(4) 追加情報	5
3.	四半期連結財務諸表	6
	(1) 四半期連結貸借対照表	6
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	8
	四半期連結損益計算書	
	第3四半期連結累計期間.....	8
	四半期連結包括利益計算書	
	第3四半期連結累計期間.....	10
	(3) 継続企業の前提に関する注記	11
	(4) セグメント情報	12
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社は、平成23年6月1日に、㈱東京スタイルと㈱サンエー・インターナショナルの共同株式移転の方法による共同持株会社として設立されました。当社設立に際し、㈱東京スタイルを取得企業として企業結合会計を適用しているため、前第3四半期連結累計期間（平成23年3月1日から平成23年11月30日まで）の連結経営成績は、取得企業である㈱東京スタイルの前第3四半期連結累計期間（平成23年3月1日から平成23年11月30日まで）の連結経営成績を基礎に、㈱サンエー・インターナショナルの平成23年6月1日から平成23年11月30日までの連結経営成績を連結したものです。

このため、当第3四半期連結累計期間と前第3四半期連結累計期間との単純な比較ができませんので、前年同四半期との対比は行っておりません。

当第3四半期連結累計期間（平成24年3月1日から平成24年11月30日まで）における我が国経済は、当初においては東日本大震災の復興関連需要などによる国内需要の回復や設備投資に持ち直しの動きが見られたものの、欧州債務危機や中国経済の成長鈍化等による世界景気の減速及び円高に伴う輸出の減少などにより弱含みの状況で推移しました。

アパレル業界においては、個人消費の長期低迷が続くなか、一部に明るい兆しも見られたものの、ライフスタイルの変容に伴う消費者意識と購買行動の変化などもあり、依然として不安定な状況が続きました。

こうしたなかで当社グループは、平成24年4月にグループ全体の中期経営計画を策定し、事業拠点の整理統合や不採算店舗の撤退、遊休資産の売却などを実施しました。また、その一方で傘下の東京スタイルグループ及びサンエー・インターナショナルグループの管理機能、店舗開発機能及び生産機能の統合を実施するなど、持株会社の機能強化と経営統合によるシナジー効果の創出を図るとともに、営業活動においても前期に引き続いてグループ各社間の積極的な連携を推進しました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は1,372億8百万円となりました。損益面では新規出店及びコスト構造改革に伴う投資を先行させたため、営業損失は20百万円となり、また、経常利益は12億26百万円となりました。

また、㈱ケイト・スピード ジャパン株式を売却したことによる関係会社株式売却益27億50百万円及び固定資産売却益、投資有価証券売却益などにより38億27百万円の特別利益を計上する一方、投資有価証券評価損などによる33億39百万円の特別損失及び法人税等として11億70百万円を計上したこと等により、当社グループの四半期純利益は1億34百万円となりました。

セグメント別の売上の概況は次の通りです。

(東京スタイルグループ)

㈱東京スタイルは事業構造の抜本的な改革を進めるとともに、採算管理手法の見直しにより、低収益・不採算の店舗・売場約300箇所の閉鎖、並びに、不採算4ブランドの廃止を実施しました。下半期についても引続き非効率なブランドや売場をスクラップし販売効率をさらに向上させることで収益体質の改善を図っております。また、コスト構造改革の一層の推進の必要性から人員の効率化を迅速に進めるべく「早期退職支援制度」を導入しました。

㈱ナノ・ユニバースをはじめとするグループ各社との連携を強化し、積極的に出店したことで順調に売上を拡大するとともに、Web販売などの事業基盤の拡充に向けて様々な施策に取り組んできました。その結果、東京スタイルグループの売上高は599億円68百万円となりました。

(サンエー・インターナショナルグループ)

消費者のライフスタイルの変化を踏まえ、東京ソラマチ、渋谷ヒカリエ、ダイバーシティ東京プラザ及び三井アウトレットパーク木更津といった集客力のある新規商業施設に積極的に出店するとともに、アウトレット事業を展開していた子会社を㈱サンエー・インターナショナルが吸収合併することでアウトレット事業の再編と強化を図りました。また、サンエー・インターナショナルグループの基幹ブランドである「ナチュラルビューティーベーシック」において、前連結会計年度に引き続いてテレビCMに

よる積極的な広告宣伝活動を展開いたしました。その一方、(株)サンエー・インターナショナルの子会社であった(株)ケイト・スペード ジャパンの全株式を売却することにより同社はサンエー・インターナショナルグループから外れることとなりました。その結果、サンエー・インターナショナルグループの売上高は771億96百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間末 (平成24年11月30日)	増減
総資産	190,804	187,740	△3,064
負債	71,548	70,774	△773
純資産	119,255	116,965	△2,290
自己資本比率	60.7%	60.6%	△0.1%
1株当たり純資産	1,001.04円	982.36円	△18.68円

総資産は、受取手形及び売掛金の増加（前期末比38億79百万円増）、有価証券の増加（前期末比7億88百万円増）、たな卸資産の増加（前期末比65億77百万円増）等があったものの、現金及び預金の減少（前期末比56億1百万円減）、投資有価証券の減少（前期末比83億63百万円減）等により、30億64百万円の減少となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の増加（前期末比31億53百万円増）、賞与引当金の増加（前期末比5億40百万円増）、繰延税金負債の増加等による固定負債「その他」の増加（前期末比4億76百万円増）等があったものの、短期借入金の減少（前期末比25億34百万円減）、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の減少（前期末比27億24百万円減）等により、7億73百万円の減少となりました。

純資産は、利益剰余金の減少（前期末比18億92百万円減）、その他有価証券評価差額金の減少（前期末比2億37百万円減）等により、22億90百万円の減少となりました。

以上の結果、1株当たり純資産は18.68円の減少となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の業績予想につきましては、平成24年11月14日に公表しました業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1 四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,101	26,500
受取手形及び売掛金	14,207	18,086
有価証券	1,999	2,787
商品及び製品	19,991	26,925
仕掛品	929	447
原材料及び貯蔵品	262	388
その他	5,344	6,090
貸倒引当金	△672	△505
流動資産合計	74,164	80,721
固定資産		
有形固定資産	21,165	21,208
無形固定資産		
のれん	4,712	3,898
その他	3,306	3,292
無形固定資産合計	8,018	7,191
投資その他の資産		
投資有価証券	65,518	57,155
その他	22,324	22,013
貸倒引当金	△387	△549
投資その他の資産合計	87,454	78,619
固定資産合計	116,639	107,018
資産合計	190,804	187,740
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,889	25,042
短期借入金	18,976	16,441
1年内返済予定の長期借入金	4,320	3,059
未払法人税等	1,656	1,755
賞与引当金	1,470	2,010
ポイント引当金	394	382
株主優待引当金	22	13
返品調整引当金	607	731
資産除去債務	69	83
その他	10,907	10,984
流動負債合計	60,313	60,503
固定負債		
社債	74	43
長期借入金	2,485	1,021
退職給付引当金	1,618	1,532
役員退職慰労引当金	896	904
資産除去債務	2,262	2,394
その他	3,897	4,374
固定負債合計	11,235	10,270
負債合計	71,548	70,774

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	70,956	70,956
利益剰余金	28,779	26,887
自己株式	△1	△1
株主資本合計	114,734	112,842
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,361	1,124
繰延ヘッジ損益	5	3
為替換算調整勘定	△200	△232
その他の包括利益累計額合計	1,166	894
新株予約権	291	334
少数株主持分	3,063	2,894
純資産合計	119,255	116,965
負債純資産合計	190,804	187,740

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	98,057	137,208
売上原価	49,126	65,946
売上総利益	48,931	71,261
販売費及び一般管理費	52,211	71,282
営業損失(△)	△3,280	△20
営業外収益		
受取利息	447	417
受取配当金	347	392
為替差益	—	82
投資有価証券評価益	—	420
デリバティブ評価益	—	58
その他	322	462
営業外収益合計	1,116	1,834
営業外費用		
支払利息	90	184
店舗等除却損	212	80
為替差損	100	—
有価証券評価損	386	—
投資有価証券評価損	600	—
デリバティブ評価損	506	—
貸倒引当金繰入額	101	161
その他	319	159
営業外費用合計	2,318	586
経常利益又は経常損失(△)	△4,482	1,226
特別利益		
固定資産売却益	22	454
投資有価証券売却益	0	496
関係会社株式売却益	—	2,750
負ののれん発生益	4,039	—
新株予約権戻入益	272	—
その他	84	125
特別利益合計	4,420	3,827
特別損失		
固定資産除却損	80	143
減損損失	709	71
投資有価証券売却損	549	180
投資有価証券評価損	284	1,352
関係会社株式評価損	—	619
関係会社整理損	10	152
早期退職関連費用	—	525
解約補償金	—	128
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	315	—
災害による損失	71	—
段階取得に係る差損	40	—
その他	335	166
特別損失合計	2,397	3,339
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,459	1,714

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
法人税、住民税及び事業税	1,553	2,406
法人税等調整額	242	△1,235
法人税等合計	1,796	1,170
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△4,255	543
少数株主利益	314	409
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,570	134

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△4,255	543
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,198	△236
繰延ヘッジ損益	△6	△1
為替換算調整勘定	△176	△31
持分法適用会社に対する持分相当額	△28	0
その他の包括利益合計	△6,410	△269
四半期包括利益	△10,665	274
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△10,974	△137
少数株主に係る四半期包括利益	308	411

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	東京スタイル グループ	サンエー・イ ンターナシヨ ナルグループ	計		
売上高					
外部顧客への売上高	47,384	50,670	98,054	3	98,057
セグメント間の 内部売上高又は振替高	110	7	118	△118	—
計	47,494	50,677	98,172	△115	98,057
セグメント損失(△)	△4,078	782	△3,296	16	△3,280

(注) 1 「調整額」の区分は、主に事業セグメントに帰属しない当社（純粋持株会社）であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

3 サンエー・インターナショナルグループは、平成23年6月1日から平成23年11月30日までを連結したものと
なります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「サンエー・インターナショナルグループ」セグメントにおいて、退店の意思決定をした店舗及び
営業損益が継続してマイナスである店舗について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を
店舗等除却損に含めて営業外費用に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において151百万円であります。

また、「サンエー・インターナショナルグループ」セグメントにおいて、営業損益が継続してマイ
ナスであり、翌連結会計年度においてもマイナスが見込まれる連結子会社等について帳簿価額を回収
可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において709百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「東京スタイルグループ」セグメントにおいて、㈱フィットの株式を第1四半期連結会計期間に取
得し、同社を連結子会社としました。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において1,163百万円であり
ます。

また、「東京スタイルグループ」セグメントにおいて、㈱エレファント及び㈱ローズバッドの株式
を第2四半期連結会計期間に取得し、当該2社を連結子会社としました。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において7,938百万円であり
ます。

さらに、「東京スタイルグループ」セグメントにおいて、㈱アルページの株式を当第3四半期連
結会計期間に取得し、連結子会社としました。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において4,726百万円であり

ます。

(重要な負ののれん発生益)

当社は、平成23年6月1日に、㈱東京スタイルと㈱サンエー・インターナショナルの共同株式移転の方法による共同持株会社として設立されましたが、㈱東京スタイルを取得企業として企業結合会計を適用しているため、㈱サンエー・インターナショナルを完全子会社とする過程において、負ののれん4,039百万円が発生しました。当該負ののれんは、当第3四半期連結累計期間において、負ののれん発生益として特別利益に計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	東京スタイル グループ	サンエー・イ ンターナシ ョナルグル ープ	計		
売上高					
外部顧客への売上高	59,912	77,164	137,077	130	137,208
セグメント間の 内部売上高又は振替高	56	31	88	△88	—
計	59,968	77,196	137,165	42	137,208
セグメント損失(△)	△1,135	1,531	396	△417	△20

(注) 1 「調整額」の区分は、主に事業セグメントに帰属しない当社（純粋持株会社）及び報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

当社グループ全体の生産、物流機能を統合するため、当第3四半期連結会計期間において、㈱サンエー・インターナショナルの連結子会社である㈱サンエー・プロダクション・ネットワークは、当社の直接所有による連結子会社となるとともに、商号を㈱TSI・プロダクション・ネットワークに変更しております。

これにより、当該事業に関するセグメント区分を、「サンエー・インターナショナルグループ」セグメントから「調整額」に変更しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「東京スタイルグループ」セグメントにおいて、閉鎖の意思決定をしたブランドに係る店舗等について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において51百万円であります。

また、「サンエー・インターナショナルグループ」セグメントにおいて、退店の意思決定をした店

舗及び営業損益が継続してマイナスである店舗について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を店舗等除却損に含めて営業外費用に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において32百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。